

# **資格・検定試験および 通信教育受講助成細則**

## 改廃履歴

Rev	改 廃 内 容	実 施 日
1.0	初版	1995. 10. 01
1.1	規程管理規程の改正準備対応	2009. 12. 01
1.2	規程作成細則実施に伴う書式変更	2010. 04. 01
1.3	第2条「人事制度運用に関する細則」別表3を「資格取得者表彰細則別表1」に変更	2010. 11. 01
1.4	報告書、申請書のレイアウト変更	2016. 07. 01
1.5	第2条「教育研修規程別表1」を削除	2019. 03. 01
1.6	第6条 申込申請期間の変更、新規採用者の助成申請について追加	2024. 08. 01

## 目 次

第 1 条	目的 .....	1
第 2 条	助成対象 .....	1
第 3 条	助成の範囲 .....	1
第 4 条	受験日およびスクーリング受講日の扱い .....	1
第 5 条	予算との関係 .....	1
第 6 条	申込手続き .....	1
第 7 条	結果報告 .....	1

## 資格・検定試験および通信教育受講助成細則

規程番号 0706-0102-00-細

制 定 日 1995年10月 1日

改 正 日 2024年 8月 1日

### (目的)

第 1 条 この細則は、資格・検定試験受験費用および通信教育受講費用を、会社が助成することにより、社員の資格・検定試験へのチャレンジ、勤勉意欲を高めることを目的として定める。

### (助成対象)

第 2 条 助成の対象は、「資格取得者表彰細則別表1」に定める資格・検定試験受験費用および通信教育受講費用とする。

### (助成の範囲)

第 3 条 助成の範囲は、次のとおりとする。

- ①資格・検定試験受験料。ただし、1資格2回までとする。
- ②通信教育受講料。
- ③受講先主催のスクーリング受講費用。ただし、スクーリング受講は3日を限度とする。
- 2 受験を中止したり、通信教育を修了しなかった場合は、全額個人負担とし、返金させる。
- 3 検定試験、通信教育の主催団体は、指定する場合がある。
- 4 同種の受験、受講については、助成を行わない場合がある。

### (受験日およびスクーリング受講日の扱い)

第 4 条 受験日およびスクーリング受講日の扱いは、次のとおりとする。

- ①受験日の扱いは、業務出張（交通費、日当支給）とする。ただし、時間外日当の支給は行わない。
- ②スクーリング受講日の扱いは、業務出張（交通費のみ支給）とする。
- ③土曜日、休日の場合でも振替休日、代日休暇の付与および時間外勤務手当の支給は行わない。

### (予算との関係)

第 5 条 申込者が多数となった場合は、年間予算との関係で、助成を翌年度扱いとする場合がある。

### (申込手続き)

第 6 条 希望者は、所定の申込書により、受験の場合は申込受付開始1週間前から試験の合否判定後1ヵ月後までに、通信教育の場合は原則として毎年3月末までに翌年度分を、所属長を通して総務部に申し込み、認可を受ける。

- 2 新規採用者が、内定後に受験した資格・検定試験は、入社後速やかに助成申請書を提出する。

### (結果報告)

第 7 条 受験結果および通信教育の修了結果は、所定の報告書で速やかに所属長を通して総務部に報告する。途中で中止する場合も同様とする。

- 2 通信教育の受講途中で、レポートの提出状況等の報告を求められた場合も、速やかに総務部に報告する。